

第5次 粕屋町総合計画

平成28年度～平成37年度

KASUYA TOWN 5th MASTER PLAN

概要版



平成28年3月
粕屋町

総合計画って何ですか？

総合計画？
聞いたことないなあ…

みなさんは、自分たちの住む町に
「総合計画」という計画があることを知っていますか？
聞きなれない言葉かもしれませんが、とても大切な計画なんです。



総合計画とは、まちづくりの基本となる大切な計画です

- 総合計画は、粕屋町に「住みたい人」「住み続けたい人」が増え、粕屋町にかかわる人々が笑顔になるように、町民、地域と行政が力をあわせ、新たな時代のまちづくりを進めるための計画です。
- 粕屋町の行政は、教育・環境・産業・福祉など様々な分野で業務をしており、それぞれの分野で計画を持っています。総合計画は、それらすべての計画の基本となる、最も大切な計画です。
- 総合計画は、町民、地域と行政がそれぞれの役割と責任を担い、新しいまちづくりを進めるための「協働でつくるまちづくりの手引書(マニュアル)」となります。



「協働」ってどういうこと？

同じ目的をもった人たちが、
力をあわせて取り組むことだよ。



総合計画は、町民と行政が協働でつくった計画です

町民意識調査

H26:町民意識や施策ニーズ等のアンケート調査
H27:指標設定のためのアンケート調査

中学生アンケート

町の誇りや将来イメージ
等の調査

インターネット調査

近隣市町住民の粕屋町へ
の認知度等の調査

かすや未来カフェ

町の未来について語り合うワールド・カフェ
ワークショップ4回 シンポジウム1回 フォーラム1回

総合計画ワークショップ

町の魅力の検討、協働の取組検討、協働のきっかけづくり
のためのワークショップ

パブリックコメント

計画案について町民等から意見募集

総合計画審議会

町長の諮問に応じ、計画に関する必
要な調査・審議

町議会

基本構想・基本計画の議決



たくさんの方が計画づくりに
参加したんだね！

協働で計画を実行するには、
つくる過程から力をあわせる
ことが大切なんだよ。



総合計画は、「基本構想」と「基本計画」でできています

基本構想

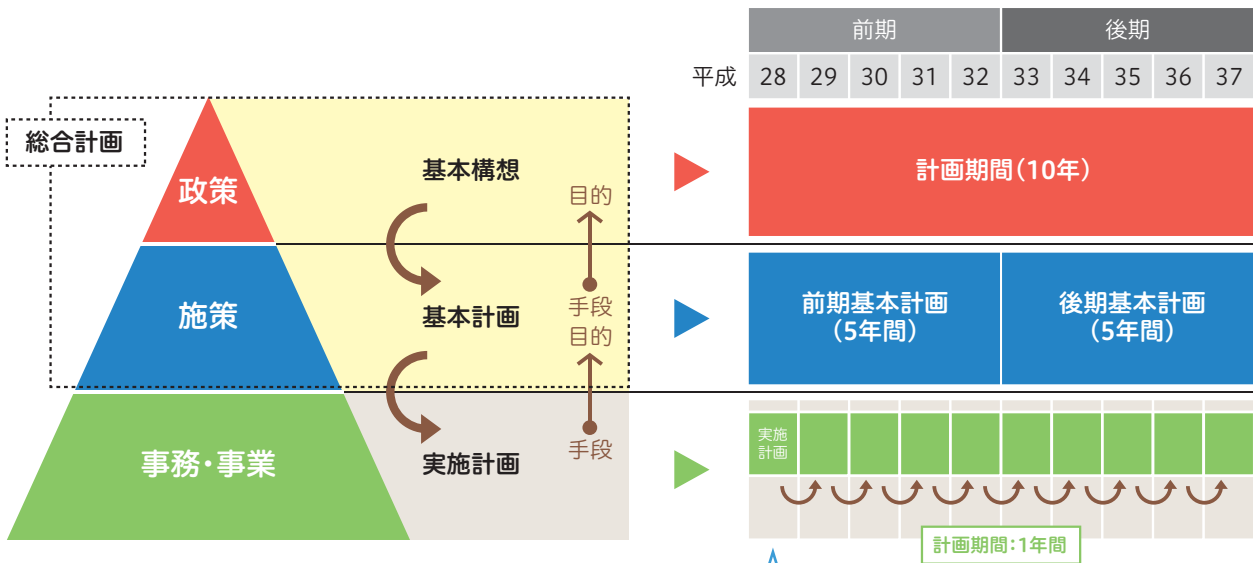
町民と行政の共通の目標として、まちづくりの基本理念と将来像を掲げるものです。また、それを達成するための、まちづくりの大きな目標を示すものです。

[計画期間]平成28年度～平成37年度

基本計画

基本構想で掲げた将来像とまちづくりの目標を受けて、その実現に必要な行政の具体的な施策や、町民の役割などを分野別に示すものです。

[計画期間]前期:平成28年度～平成32年度 後期:平成33年度～平成37年度



実施計画は、各年度で予算の編成や事業を実施するための具体的な指針となるものです。毎年PDCAサイクルにより見直し・改善を加えていきます。

毎年見直すことで、みんなの大切な税金を効果的に使って、本当に必要なことに取り組めるんだね。

総合計画がそんなに大切な計画だって知らなかった！具体的に知りたいな。



さっそく、次のページから総合計画の内容を見てみよう！



町民の皆でめざす、 未来の粕屋町の姿



まちづくりの基本理念

太陽と緑のまち

都市と自然が調和し、身近に自然を感じながら、ゆとりある生活空間の中で、町民一人ひとりが誇りと愛着を持って暮らせる「太陽と緑のまち」をまちづくりの基本理念とします。

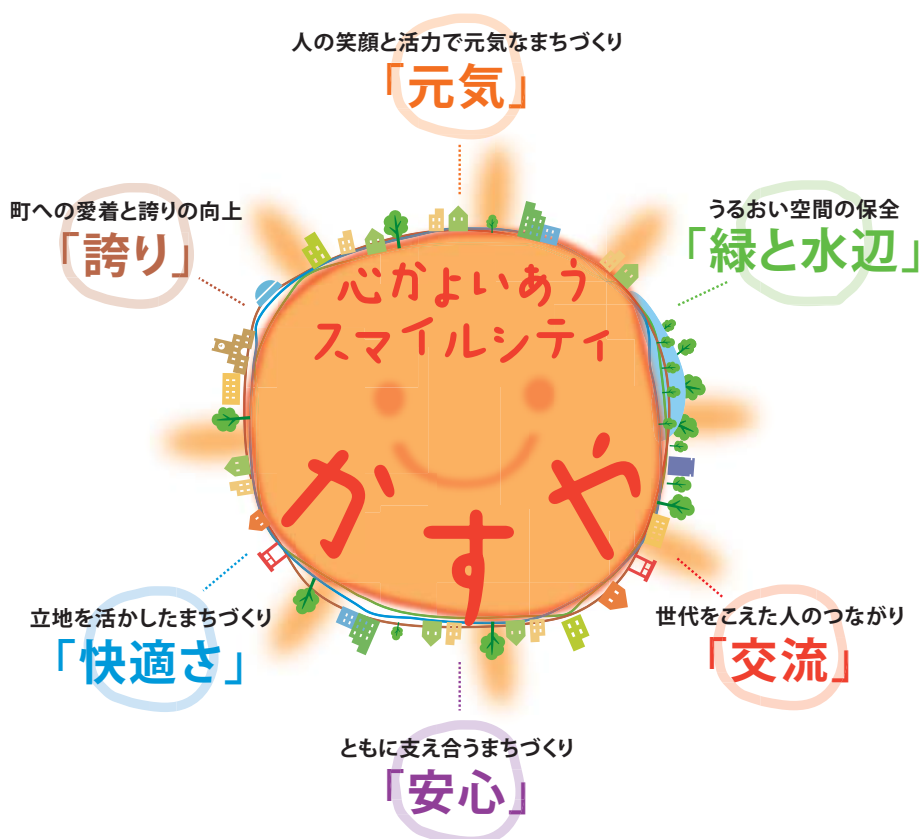
協働でつくる安心のまち

町民誰もが安心した暮らしを営むために、町民、地域と行政がお互いに役割と責任を担い、ともに力をあわせて、まちを創造する「協働でつくる安心のまち」をまちづくりの基本理念とします。

まちの将来像

粕屋町への愛着と誇りがますます高まり、次世代を担う子どもたちに笑顔があふれる明るい未来を引き継ぐことをめざし、第5次総合計画のまちの将来像を次のように掲げます。

心がよいあう スマイルシティがすや

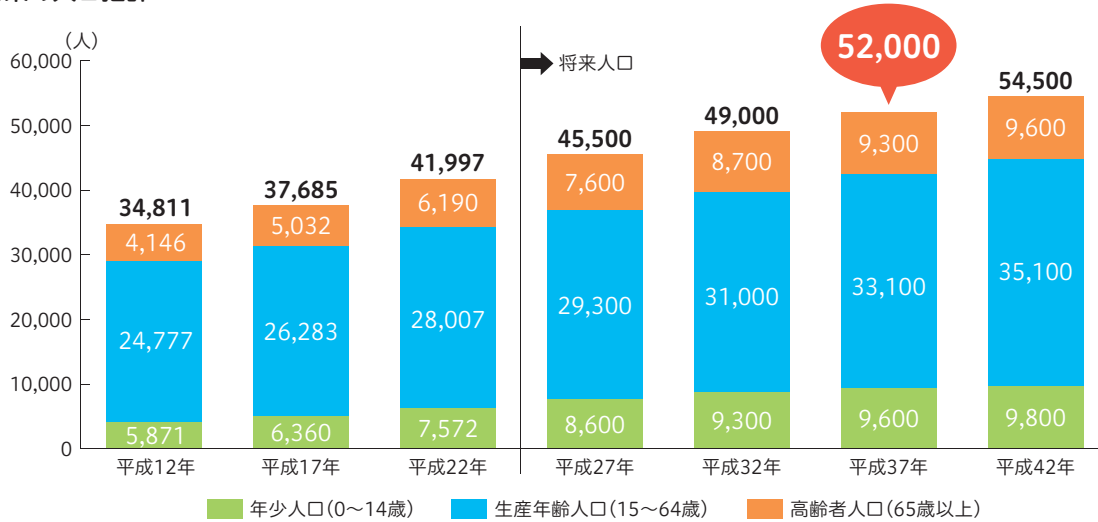




粕屋町の将来フレーム

第5次総合計画では、計画的な土地利用、産業の活性化や仕事づくり、安心して子どもを産み育てられる環境づくりなど、粕屋町に「住みたい人」「住み続けたい人」を増やす取組を展開し、平成37年の将来人口フレームを52,000人と設定します。

■将来の人口推計



資料：国勢調査(平成12~22年 総人口は年齢不詳人口を含むため年齢別人口の合計とは一致しません。) ※人口推計値は、住民基本台帳に基づいて算出しています。

平成37年の将来人口フレーム

52,000人

日本全体では、人口が減っているけど、粕屋町では増えているんだよ。

だったら、これからも自然に増えていくんじゃないの？

これからも人口を増やしていくには、粕屋町を「住みたい」「住み続けたい」元気なまちにしていく必要があるんだよ！

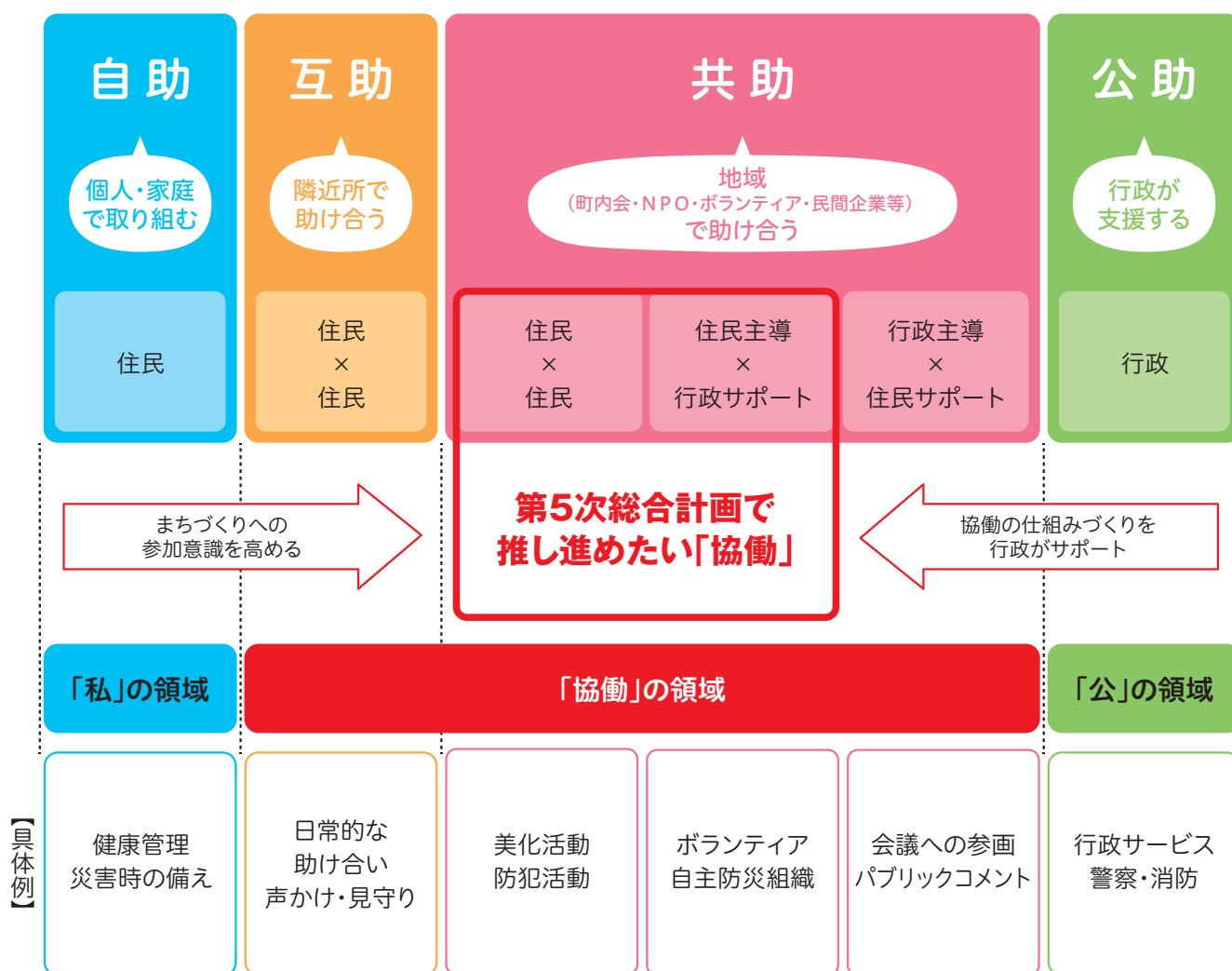


これからの協働のまちづくり

これまでのまちづくりは、「行政主導・住民サポート型」の協働が中心となっていました。今後、協働の必要性がますます高まっている中、「住民主導・行政サポート型」「住民自立型」の協働を推し進めていくことが重要です。

第5次総合計画においては、協働の基本的な考え方や必要性などを町職員だけでなく、まちづくりに関わる全ての人々が共通の認識を持つとともに、協働の仕組みを構築し、さらなる協働のまちづくりを進めます。

協働のイメージ



【具体例】



学校でゴミ拾い活動をしたことがあるよ！

地域の活動やボランティアにも、家族で参加してみよう！





まちづくりのスマイル指標

第5次総合計画においては、総合指標として「まちづくりのスマイル指標」を定めるとともに、基本施策ごとに指標を定め、まちの将来像「心かよいあうスマイルシティかすや」の実現に向けたまちづくりに取り組んでいきます。



指標は何のためにあるの？

目標がはっきりしていると
みんなで力をあわせやすいんだよ！



実感指標

指標	内容	現状値 (H27)	目標値 (H32)
幸せ指標	粕屋町に暮らしていて幸せだと思う町民の割合	47.9%	↑ より 幸せに!
	粕屋町に愛着を「強く感じている」「感じている」町民の割合	60.0%	
住みよさ指標	今後も粕屋町に住みたいと思う町民の割合	82.2%	↑ より 住みやすく!
	粕屋町は住みやすいと思う町民の割合	79.1%	
つながり指標	隣近所と付き合いのある町民の割合	65.6%	↑ つながり を深め!
活力指標	粕屋町は活力ある元気なまちだと思う町民の割合	67.1%	↑ より活力 あるまちに!
健やか指標	粕屋町は健康に暮らせるまちだと思う町民の割合	76.4%	↑ より 健康に!

※平成27年度に実施した町民意識調査(18歳以上の町民3,000人を無作為抽出 有効回答数917)の結果をもとに、現状値を設定したものです。

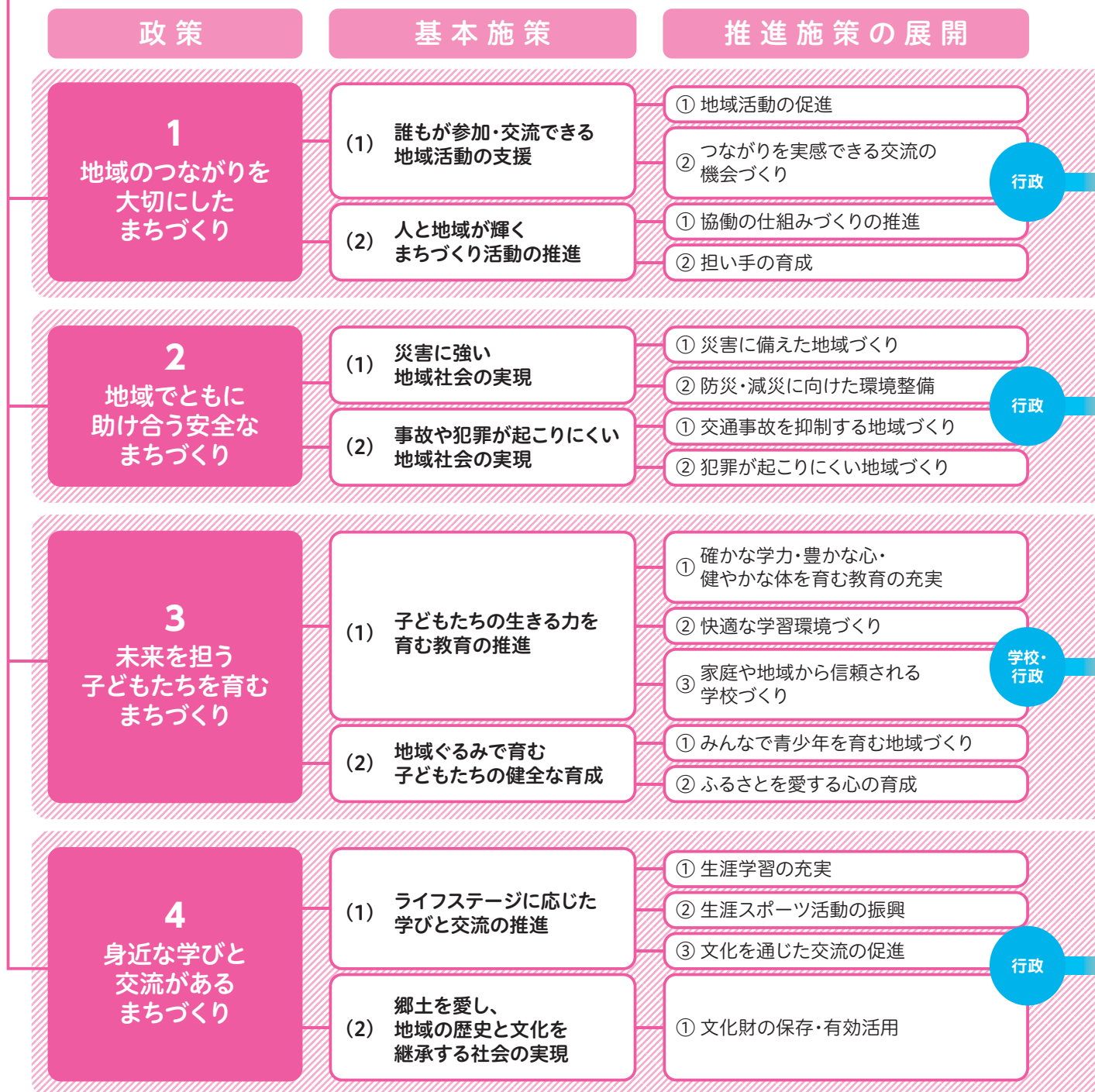
客観指標

指標	内容	現状値 (H25-H26)	目標値 (H30-H31)
出生率	人口に対する出生数の割合	16.20%	16.20%
社会増加率	転入、転出を要因とする人口増加の割合	0.25%	0.31%

※出生率…人口1,000人あたりの出生数の割合(‰)
※人口移動調査(福岡県の人口と世帯年報)の数値(9月末現在)

基本目標 1

つながりと交流を深め、 心豊かな人を育む協働のまち





地域のつながりや地域社会が果たす役割の重要性が再認識される中で、町民、地域と行政が相互に連携し、地域課題を解決する地域力の強化を図ります。

家庭、学校と地域が互いに信頼し合う連携の中で、次世代を担う子どもたちが、それぞれの個性を伸ばし、たくましく生きる力と豊かな人間性を育むまちをめざします。

また、先人たちが築き上げた歴史と文化を次世代に引き継ぐとともに、町民一人ひとりが生涯にわたり、生きがいを持って身近に学び、交流の輪が広がるまちをめざします。

主要な協働の取組

☑チェック
してみよう!

町民・
事業所
等

- 地域活動への関心を持ち、積極的に参加する
- 世代間交流や地域間交流の場をつくる
- ボランティア活動等に積極的に参加する
- さまざまな団体や事業所等による協働のネットワークをつくる



まちづくりワークショップ

町民・
事業所
等

- 防災訓練への参加、災害用備品の準備など、日頃から災害時に備える
- 飲酒をしたら運転しないなど、交通ルールを守る
- 防犯パトロールなど、地域の見守り活動を行う



通学時の交通安全指導

町民・
事業所
等

- 生活習慣の形成など、家庭教育を行う
- 地域で青少年と大人がふれあう場をつくる
- 青少年に地域内での交流の場への参加を促す



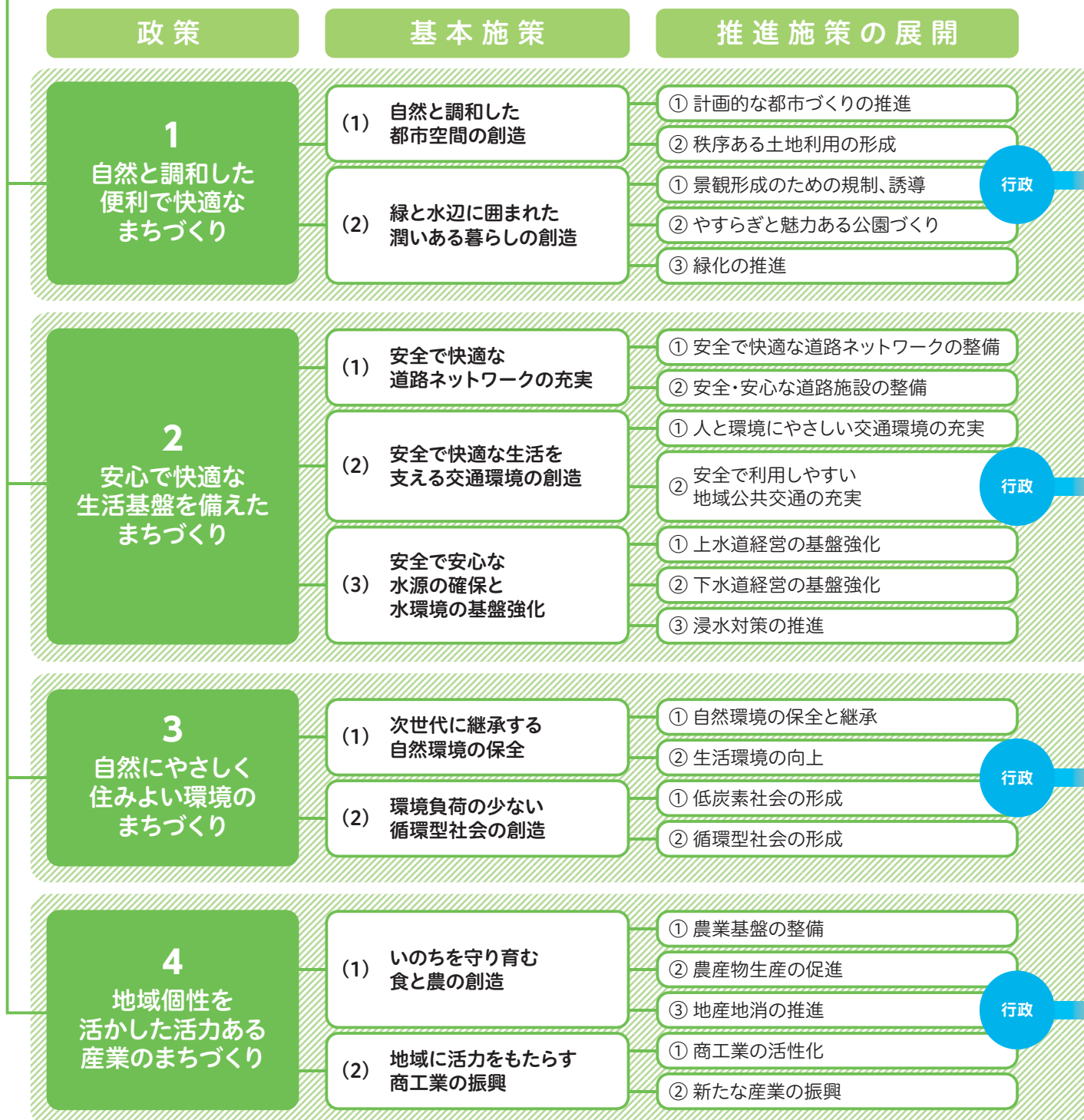
阿恵遺跡現地説明会

町民

- 生涯を通じて学び続ける意欲を持ち、さまざまな学習機会に参加する
- 学習により得られた成果を地域の活性化につなげる
- 町の歴史や文化に興味を持ち、学習機会に参加する
- 町の歴史や文化を学び、次世代へ継承する活動に取り組む

基本目標 2

都市と自然が調和し、 快適に暮らせる活力あるまち





計画的な土地利用をさらに進め、身近に自然を感じながらも町民の生活を支える都市機能の充実を実感でき、安心して快適に暮らすことができるまちづくりを進め、定住促進を図ります。

また、地域の資源や特性を活用し、地域ブランドや産業の活力を創出するまちづくりを進め、粕屋町の魅力を一層高めるとともに、町内外へのシティプロモーション活動を進め、活力あるまちをめざします。

主要な協働の取組

☑チェック
してみよう!

町民・
事業所
等

- 事業所等は、都市と自然が調和したまちづくりの方向性を意識し、土地利用を進める
- 公園等を活用した町の行事(バラまつりなど)に参画する
- 公園の維持管理等、ボランティア活動に参加する



駕与丁公園のバラ園

町民・
事業所
等

- 行政と協力し、道路や交通安全施設を点検する
- 危険箇所を把握し、町と相談しながら安全策を講じる
- マイカーを控え、公共交通機関を利用する
- 地域や事業所が連携し、駅周辺を活用した、にぎわい・交流拠点づくりを進める
- 水資源を汚さず、大切に使うよう心がける



保育園児のホタル放流会

町民・
事業所
等

- 日頃から自然環境を汚染しないように心がける
- 地域の環境美化活動に積極的に参加する
- マイ・バッグを持参するなど、身近なエコ活動に取り組む
- エアコン設定温度を調節するなど、環境に配慮する

町民・
事業所
等

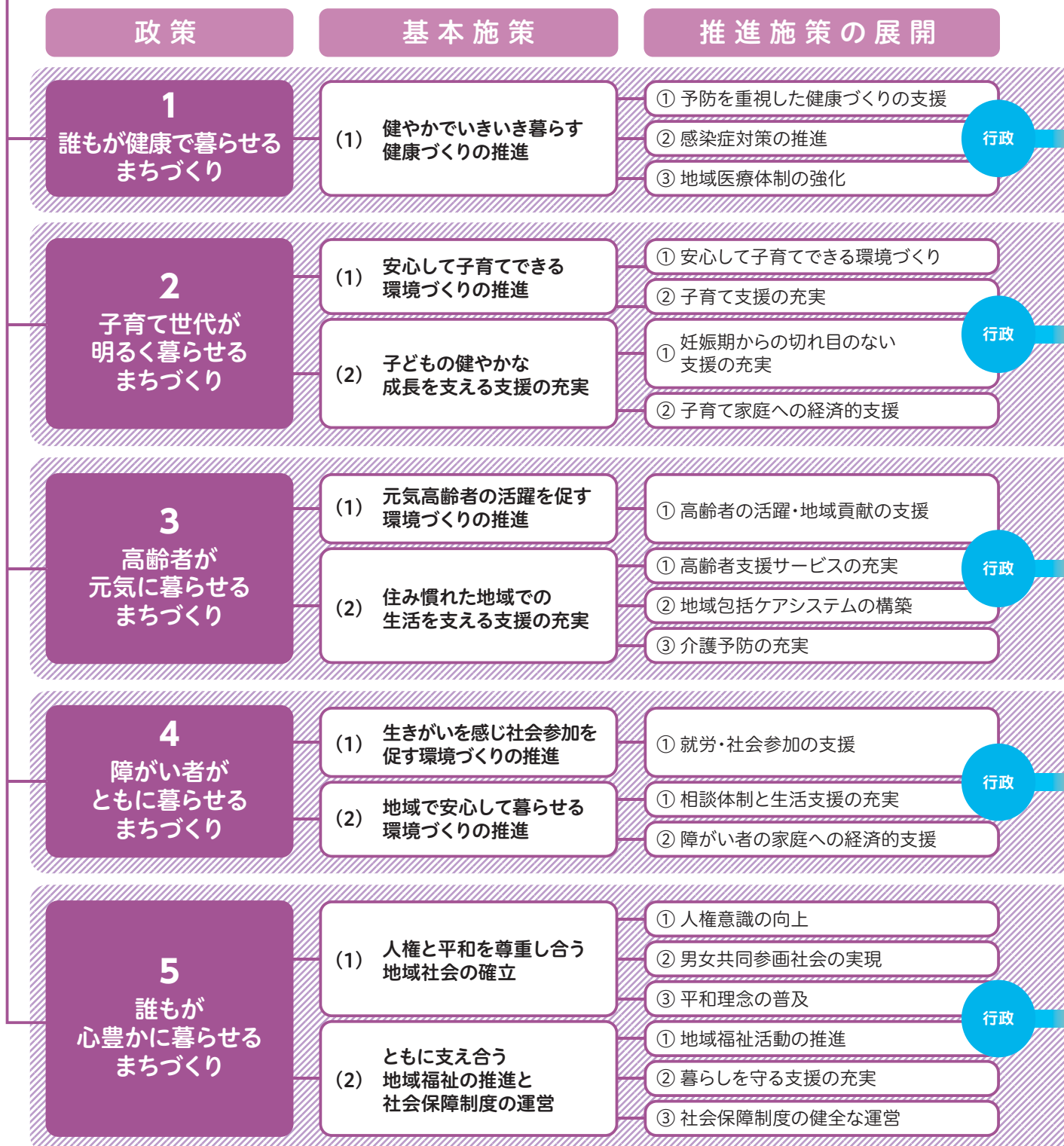
- 地元農産物への関心や理解を深める
- できる限り町内で買い物をする
- 地元の企業(店舗・商店)と協力し、地域の行事を行う



学校給食における地元農産物の使用

基本目標 3

誰もが安心して 幸せに暮らせるやすらぎのまち





高齢者も子どもも、障害のある人もない人も、すべての町民が住み慣れた地域の中で、地域社会の一員として、健康で自分らしく充実した生活を安心して送ることができる、互いに支え合い、ともに生きる地域社会の実現をめざします。

また、安心して産み育てられる環境の充実を図り、子育て世代が住み続けたいと思うまちをめざします。

主要な協働の取組

☑チェック
してみよう!

町民

- 生活習慣病予防についての正しい知識を持ち、定期的に健康診断を受診する



親子サロン

町民

- 公民館等での子育てボランティアに参加する
- 親子や親同士の交流の場に参加する
- 妊婦健診や乳幼児健診等を必ず受診する
- 妊娠・出産や子育て、子どもの発達に不安や心配事がある保護者は、教室や相談機関を利用する

町民・
事業所
等

- 公民館等を活用し、仲間づくりや高齢者が集う機会をつくる
- 高齢者の社会参加の場を提供する
- 支援を必要とする高齢者に、地域住民やボランティア、NPOによる日常生活上の支援を行う
- 可能な限り介護を必要としない生活を送れるように意識する

町民・
事業所
等

- 障害を持つ人への理解を深める
- 障がい者の就労の場、交流の場を増やす
- 地域住民と民生委員・児童委員等が連携し、相談や声かけを行う



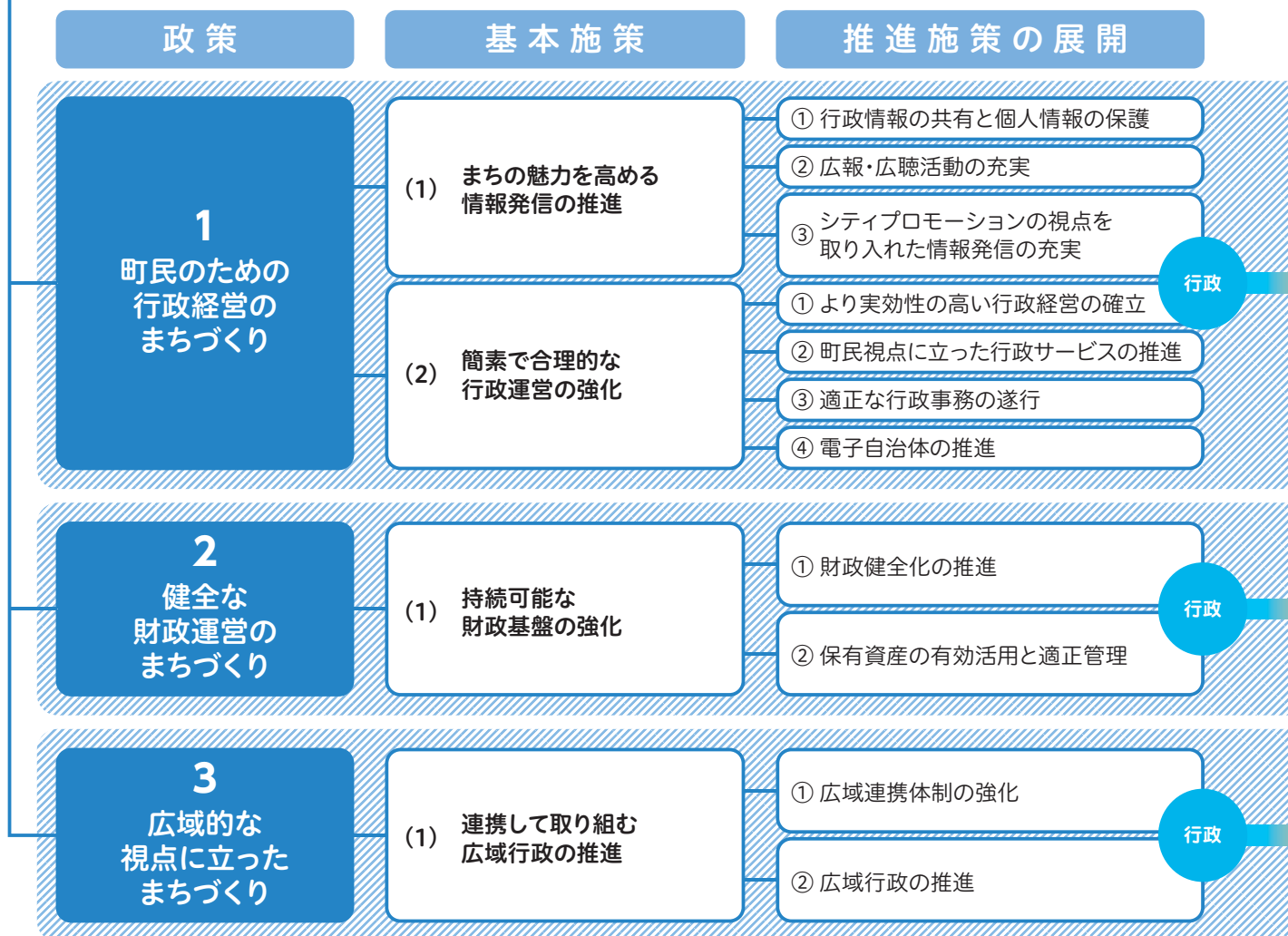
人権の花運動

町民・
事業所
等

- 人権に関する学びの機会に参加する
- 差別や偏見をなくす力を養う
- 隣近所での支え合い、ボランティア活動、地域での見守り活動等に積極的に参加する

基本目標 4

健全で持続可能な 行政経営をめざすまち





限りある経営資源で、社会情勢の変化や多様化する町民ニーズを的確に捉えた改革を進めるために、行政の経営力を強化し、質を重視した行政サービスを実現するとともに、持続可能な行政経営を進めます。

主要な協働の取組

☑チェック
してみよう!

- 町政やまちづくりに関心を持ち、積極的に情報収集を行う
- 町内外に対して町の魅力を積極的に発信する
- 町民視点のまちづくりが行われているか、町政に関心を持つ



粕屋町ホームページ

町民・
事業所
等

町民

- 税金が有効に使われているか、町の財政状況に関心を持つ



かすや中南部広域消費生活センター

町民

- 近隣自治体にある施設等、広域資源を有効に活用する


総合計画には、私たちにも参加できる
まちづくりのことが書いてあるんだね!



僕たちにもできることが
たくさんあるんだね。



みんなの笑顔があふれる明るい
未来が楽しみだね!



第5次 粕屋町総合計画

平成28年度～平成37年度

KASUYA TOWN 5th MASTER PLAN

概要版

平成28年3月発行

編集・発行 粕屋町役場 経営政策課

〒811-2392 福岡県糟屋郡粕屋町駕与丁一丁目1番1号

TEL 092-938-0175(直通) FAX 092-938-3150

<http://www.town.kasuya.fukuoka.jp/>

